

2022 年度前学期（日本語）
総研大フレッシュマンコース 受講案内

1. 概要

フレッシュマンコース（Freshman Course（FC））は、主に新生を対象とした集中講義（オンライン）です。このコースでは、次の2つのことを主な目的とします。第一に、研究者を目指すすべての人が身につけるべき技術・考えるべき問題を学ぶこと。第二に、総研大ならではの知的広がりに触れる中で、異なる分野の人とのつながりを築くことです。本コースは、「アカデミア探訪」、「研究者と社会」、「研究者のための“伝える”技術」の3つのセッションから構成されています。FC ウェブサイト（<https://freshman.soken.ac.jp>）にて、セッションの詳細を確認して下さい。



アカデミア探訪	研究者と社会	研究者のための“伝える”技術
総研大とその基盤機関で行われている研究活動の多様性と共通性に触れ、これから始まる研究生活のイメージを膨らませるとともに、異分野の学生・教員との交流を深めます。	ワークショップおよび講義を通じて、研究者の社会における責任について学び、討論します。	講義と演習で、研究者に必要なとなるライティングやプレゼンテーションの技術を学びます。

単位数	2 単位 全授業に参加し、課題を提出すること
成績評価	授業での貢献度と提出課題（詳細はシラバスを参照して下さい。）
使用言語	日本語 十分な日本語能力（読み書き、ディスカッション）が求められます。日本語能力に不安がある場合は、英語の授業を受講して下さい。 (Japanese language ability to read, write, communicate, and actively participate in discussions is required. If you prefer to take the course in English, please register in the 2022 Second Semester Freshman Course in October.)
対象	新生・在学生（1年生から5年生） 物理科学研究科、複合科学研究科（ただし統計科学専攻の3年次編入者を除く）、生命科学研究科、先導科学研究科においては必修科目です。

2. 授業スケジュール

月日	時間	セッション
4/5 (火)	10:40 - 12:10	フレッシュマンコース開講・アカデミア探訪
	12:10 - 13:00	(昼休憩)
	13:00 - 14:30	アカデミア探訪
	14:40 - 16:10	
4/6 (水)	13:00 - 14:30	研究者と社会①:研究者倫理
	14:40 - 16:10	
	16:20 - 17:50	
4/7 (木)	9:00 - 10:30	研究者と社会③:研究を多角的に捉える
	10:40 - 12:10	
	12:10 - 13:00	(昼休憩)
	13:00 - 14:30	研究者と社会③:研究を多角的に捉える
4/8 (金)	9:00 - 10:30	研究者のための“伝える”技術①:ライティング
	10:40 - 12:10	
	12:10 - 13:00	(昼休憩)
	13:00 - 14:30	研究者のための“伝える”技術②:プレゼンテーション
	14:40 - 16:10	
	16:20 - 16:30	フレッシュマンコース閉講・諸連絡
オンデマンド 4/5 (火) ~ 4/30 (土)		研究者と社会②:研究者と社会史

3. オンライン受講に際しての注意事項

- (1) 全セッションへの積極的な参加を単位付与の条件としています。
- (2) オンデマンド配信予定の「研究者と社会②:研究者と社会史」以外のセッションは、Zoom 配信で行います。各授業開始の 10 分前までに、フレッシュマンコース受講申し込み時に使用したメールアドレスで、Zoom にサインイン、入室して下さい。授業内容によって、授業開始終了時間が多少前後することがあります。
- (3) Zoom の他、授業資料の配布や課題の提出のために、Dropbox や Google Form を使用します。
- (4) Zoom、Dropbox や Google Form の接続リンク（接続情報）は、FC ウェブサイトの受講生専用ページに掲載しています。受講生専用ページのパスワードは、受講申込締め切り後にメールにてお知らせします。パスワードは、受講生専用ですので、他の人と共有しないで下さい。
- (5) Zoom、Dropbox や Google Form の接続リンクは、セッションごと異なります。リンクも、受講生専用ですので、他の人と共有しないで下さい。
- (6) Web カメラ（端末内蔵を含む）、音声マイク（端末内蔵を含む）、スピーカーもしくはイヤホン・ヘッドホン（端末内蔵を含む）が利用可能で、高速のインターネットに接続された PC などを用意して下さい。テキスト入力をする場面もあるため、PC での参加を推奨します。
- (7) 発言などができる静穏な環境で参加して下さい（研究所、自宅などは問いません）。
- (8) 接続トラブルが発生した場合は、フレッシュマンコース実施事務局（freshman@ml.soken.ac.jp）に連絡して下さい。受講生側の接続の不具合が原因で、授業へのアクセスが途切れてしまった場合、原則、授業開始後は支援することができません。接続が頻繁に切れてしまい、授業への参加が十分でないといみなされる場合は、成績の評価ができないことがあります。

4. Zoom 接続テスト（任意）

3月29日（火）13:00~13:30

参加は任意です。参加を希望する場合は、申込時に「3/29（火）の Zoom 接続テスト（任意）に参加する」を選択して下さい。接続テストの前日までに、接続リンクを送付します。3/29（火）の 13:00 から 13:30 までの 30 分間、Zoom を開き、総研大教育開発センター（CED）教員がいますので、各自動作確認等を行い、質問があればチャットに投稿、もしくはマイクをオンにして話しかけて下さい。

5. 申込方法

申込期日： 2022年3月14日（月）正午（日本時間）

受講対象： 2022年度前学期の入学生で日本語での受講希望者
2021年度までに入学しFCを未履修の在学学生で日本語での受講希望者

注) 日本政府による新型コロナウイルス感染症に関する水際対策の強化措置のため、日本に入国ができていない学生（フレッシュマンコース受講時に海外に居住している学生）は、時差等の理由で受講が困難な場合、次学期以降に受講することもできます。

申込方法： 下記リンク先（申し込みフォーム）にアクセスし登録をして下さい。
<https://forms.gle/DSzrinBnATbjGHMU6>

登録時に必要な情報は、以下のとおりです。

- ・メールアドレス
- ・所属専攻
- ・学籍番号（2022年度4月入学生は「2022年4月入学」と書いて下さい。）
- ・氏名（アルファベット表記）
- ・氏名（漢字・カタカナ等表記）
- ・どこから受講（オンラインで接続）する予定ですか。
（研究所・大学（所属専攻）・自宅等（日本国内）・自宅等（日本国外）・その他）
- ・上の質問で「自宅等（日本国外）」を選択した方は「国・都市名」を教えてください。
- ・受講時のインターネット通信量に制限がありますか。（ある・ない）
- ・3/29（火）のZoom接続テスト（任意）に参加する・参加しない
- ・研究者としての自分を表現する画像*
- ・上の画像の説明（200文字～300文字程度）
- ・自身の研究のキーワード（3つ）

*「研究者としての自分を表現する画像」とは？

- FCウェブサイト上に受講生リストのページ「Participants (J)」を設けます。そこに掲載する「研究者としての自分を表現する画像」、その説明（200文字～300文字程度）、研究のキーワード（3つ）を提出して下さい。「アカデミア探訪」のセッションでも使用します。
- 自らの研究上の関心や、研究者としての自分を表現するイラスト、写真、その他画像など、どんなものでも構いませんが、著作権上問題が生じないもの（自分自身が作成・撮影したものや、パブリックドメインの画像等）を作成して下さい。
- 画像はjpgまたはpng、サイズは300px×300px程度、1MB未満として下さい。
- タイトルを「学籍番号-LastName-FirstName」として保存し、提出して下さい。2022年4月の入学生で学籍番号がない場合は、「専攻名-LastName-FirstName」として下さい。
- FCウェブサイトの「Participants (example)」のページに、画像、その説明、キーワードの例を掲載していますので、参考にして下さい。

6. 申込後・授業開始まで

① 3月22日（火）頃に、全受講生にメールにて、FCウェブサイト

(<https://freshman.soken.ac.jp>) の受講生専用ページのパスワードを送付します。パスワードを使いログインをすると、受講生専用ページの「Information」や「Participants (J)」にアクセスができます。「Information」ページでは、以下について確認ができます。

- ・授業・セッションのスケジュール
- ・各セッションの情報、担当教員

- ・ Zoom の接続リンク（接続情報）
- ・ Dropbox のリンク（授業資料のダウンロードや課題のアップロード用）
- ・ その他、Google Form のリンク等、各セッションで使用するオンラインツールとそのリンク
- ・ オンライン接続の注意事項

②「研究者と社会③：研究を多角的に捉える」のセッションで使用する、「エピソード」の準備をして下さい。

4月7日（木）の「研究者と社会③：研究を多角的に捉える」では、研究者の活動が社会においてどのような波及効果をもたらすかについて、研究者視点だけでなく多角的に考えるワークを行います。その事前準備として、ワークの題材になるような自身の研究分野の「エピソード」を調べてもらいます。

*** 「エピソード」とは？**

- ある出来事が、研究者と一般社会で大きく異なる意味合いを持った例を挙げて下さい。
- 例えば、研究者のある活動（研究成果や社会に対する働きかけ等）が、研究に馴染みのない人々に対して（その分野の研究者にとっては）想定外の波及効果やインパクトをもたらした出来事や、社会における出来事がある研究分野に思わぬ影響を与えた例、あるいは研究者と一般社会の間に起こる利害の不一致等、出来事を捉える際に2つの異なる観点が存在するエピソードを挙げて下さい。
- 自身の研究分野で実際に起こった出来事をインターネット等で調べるか、または自身が研究をする中で経験した実話でも構いません。
- 自身の研究分野で適したエピソードが見つからない場合は関連する分野で構いません。

下記の事柄について、FC ウェブサイトの「Information」ページにあるフォームから、4月4日（月）までに提出して下さい（①に記載のとおり、「Information」ページを開くには、パスワードが必要です。本学からの案内をお待ちください）。

- (1) いつ起こった出来事か？
- (2) どのような人・物が関係しているか？
- (3) エピソードの概要
- (4) エピソードの2つの視点での捉え方（研究者視点と、非研究者または一般社会視点）

【エピソードの例】

「スペース X 社のスターリンク衛星」

- (1) いつ起こった出来事か？：2019年に初めて打ち上げられた。
- (2) どのような人・物が関係しているか？：全世界に住む人々、天文学者
- (3) エピソードの概要：スターリンクは、地球上のほぼ全地域に高速の衛星インターネットアクセスを提供するための衛星群である。最終的に1万基以上の人工衛星を打ち上げる計画が進行中である。
- (4) エピソードの2つの視点での捉え方（例えば、研究者視点と、非研究者または一般社会視点）
 視点 1（一般社会視点）：低コストで高速のインターネットアクセスが全世界で実現し、人々に大きな利益をもたらしている。
 視点 2（天文学者視点）：衛星が太陽光を反射しながら夜空を移動するため、地上での天体観測に深刻な影響を与えている。

「研究者と社会③：研究を多角的に捉える」の「エピソード」に関する質問や不明な点は、教育開発センター（GED）までメール（ced_edu@ml.soken.ac.jp）にて問い合わせ下さい。

【問合せ先】総研大フレッシュマンコース実施事務局
 （教育開発センター（GED）・学務課学務支援係）
 TEL：046-858-1583 Email：freshman@ml.soken.ac.jp